

図書室からのお知らせ



2014年6月2日
湘南学園中高図書室

体育祭、みなさんお疲れ様でした。
一年生の皆さんは学校にはもう慣れましたか？
新しい本が303冊入りました。
2014年本屋大賞の受賞作品もあります。
ぜひ図書室に見に来てください。



新着図書を紹介



「村上海賊の娘」

和田竜[著] 旺文社 460-ヤ-9

本屋大賞で1位に輝いた作品。
織田信長の時代の話です。
瀬戸内の海賊王の娘が主人公の物語。
海上戦法が面白く、戦の場面は映画を観ている
ようで引き込まれます。

「想像ラジオ」

いとうせいこう[著] 河出書房新社 913-イ

「想像」という電波を使って、あなたの想像力
の中だけでオンエアされる不思議なラジオ番
組、それが「想像ラジオ」。
そのラジオの司会者は、想像で話しているに
も関わらず、【誰かの声】が聞こえて来る…。

「聖なる怠け者の冒険」

森見登美彦[著] 朝日新聞出版 913-モ

自作のタヌキのお面をつけた「ぼんぼこ仮面」
は、京都の街に現れた「正義の味方」の怪人。
怪しすぎる格好に何度も通報されてもあきら
めず、今やみんなの人気者。
その正体は謎に包まれている。怪人だもの。

「とっぴんぱらりの風太郎」

万城目学[著] 文藝春秋 913-マ

ぐだぐだな日々を送る“落ちこぼれニート忍
者”風太郎。偶然ひょうたんを栽培をしたこと
から、再び忍びとして戦乱の世界に進んでい
くことになる。
忍の末路の悲しさや、合戦のリアル描写が凄

「島はぼくらと」

辻村深月[著] 講談社 913-シ

島で育った4人の幼馴染。島には高校が無い
ためフェリーで本土の高校に通うことに。
島を訪れる者、島に住み着いた者、島で生ま
れ島と共に生きるもの、島を去っていく者。
4人は島から出ることで、そうした世間が少し
ずつわかるようになる。

「さようなら、オレンジ」

岩城けい[著] 筑摩書房 913-イ

難民として異国に家族で移住してきたサリマ。
二人の子供を育てながら、言葉や文字がわ
からないため孤独に追いやられてしまう。
どんな環境でもしたたかに生きていく登場人
物たちに魅了されます。



この他にも
新着図書がたくさんあります

